2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　株式会社ビーグリー　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3981　URL　https://www.beaglee.com
代　表　者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　吉田　仁平
問合せ先責任者　(役職名)　執行役員経営管理本部長　(氏名)　三吉　達治　(TEL)　03-6706-4000

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	11,608	△8.5	1,386	△20.2	666	△33.6	629	△35.0	231	△52.5
2025年12月期第３四半期	12,688	△11.0	1,736	△19.5	1,003	△28.9	968	△29.3	486	△32.8

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　231百万円(△52.5%)　2025年12月期第３四半期　486百万円(△32.8%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	41.37	41.32
2025年12月期第３四半期	87.16	86.94

(注) 調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費（出版権の償却費を含む）＋のれん償却費＋敷金償却費＋株式報酬費用±その他の調整項目

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	14,274	8,072	56.4
2025年12月期	16,556	8,063	48.6

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　8,053百万円　2025年12月期　8,050百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	42.00	42.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注) 当社は定款において第２四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当社の剰余金の配当は期末配当の年１回を基本方針としております。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,263	△8.7	1,675	△28.6	745	△45.5	698	△47.1	271	△60.3	48.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ８「（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	6,301,986株	2025年12月期	6,301,986株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	708,210株	2025年12月期	713,699株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	5,591,504株	2025年12月期３Ｑ	5,586,321株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、景気は緩やかな回復が続きました。一方で、物価上昇の継続による個人消費への影響や米国の通商政策の動向、中東情勢の地政学リスクの長期化、不安定な円相場による影響等、依然として不透明な事業環境が続いております。

インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2026」によると、2026年度の電子書籍市場の成長率は２％程度になると予測されております。

一方で、電子出版市場においては、市場の成熟化に加え、旅行や外食等のリアルな消費への回帰に伴う可処分所得の奪い合いにより、競争が激化しております。また、紙の出版市場の縮小が続いていることから、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような市場環境の中で、プラットフォームセグメントにおいては、コミック配信サービス「まんが王国」のブランド構築に注力しつつ効率的な投資を、コンテンツセグメントにおいては、継続的な作品創出及び配本部数のコントロール等を実行いたしました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は11,608,046千円（前年同期比8.5％減）、調整後EBITDAは1,386,637千円（前年同期比20.2％減）、営業利益は666,301千円（前年同期比33.6％減）、経常利益は629,937千円（前年同期比35.0％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は231,320千円（前年同期比52.5％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（プラットフォームセグメント）

プラットフォームセグメントの主力サービスであるコミック配信サービス「まんが王国」においては、ユーザーの訪問・定着・課金の流れを促し、課金者数と顧客単価を上げるべく、「お得感No.１」戦略による課金意欲の高いロイヤルカスタマーへの育成を継続する等、幅広いユーザー層獲得のための販売促進活動を積極的に行いました。加えて、当社オリジナル作品「この男、優良物件につき ～クレクレ義妹が私のすべてを奪ってきます～」の外販売上高が好調に推移いたしました。

一方で、ヘビーユーザーの定着・育成を図るため、効率的な広告運用に注力したものの、前期より続くアクティブユーザー数の減少を補うには至らず、「まんが王国」の売上高は前年同期比6.2%減となりました。

また、「まんが王国」の新たなユーザーの獲得や認知拡大を図るため、ショート動画を活用したSNSマーケティングを開始いたしました。

このほか、「Hulu」の電子コミック配信サービスにおいて、新規ユーザーの獲得に向けた各種施策を本格的に開始いたしました。

利益面においては、売上総利益が前年同期比で減少した一方で、広告宣伝費を中心とした販売費及び一般管理費についても前年同期比で大幅に減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は7,644,722千円（前年同期比5.2％減）、営業利益は414,063千円（前年同期比70.2％増）となりました。

（コンテンツセグメント）

コンテンツセグメントにおいては、デジタルコンテンツを中心に、発刊点数の増加、電子書店ごとの特性や読者ニーズに沿った販売促進活動を積極的に行いました。また、紙出版においては、紙出版市場の縮小を鑑み、配本部数の管理及び価格設定等のコストコントロールを実施いたしました。

デジタル出版においては、読者の嗜好性に合わせたコンテンツの創出とジャンルの拡大を推進した一方で、新刊のヒットによる売上の押し上げ効果が限定的となったことにより、売上高は前年同期比14.6％減となりました。

紙出版においては、配本部数のコントロール等を実施した結果、売上高は前年同期比16.7％減となりました。

このほか、ハイファンタジーや異世界恋愛を中心とした作品を取り扱う「BKレーベル」においては、「小説家になろう」とのタイアップコンテスト「第２回BK小説大賞」を開催し、書籍化及びコミカライズを確約した幅広い作品の募集を通じて、新たなタイトルの発掘とコンテンツの創出に注力いたしました。

また、2026年１月にはぶんか社から「略奪奪婚 〜デキた女が選ばれる〜」が、2026年３月には『DINKsのトツキトオカ「産まない女」はダメですか？』がテレビドラマ化し、それぞれテレビ東京にて放送されました。

さらに、2026年７月には海王社から「えっちなお尻じゃダメですか？」がテレビドラマ化され、TOKYO MXにて放送されたほか、「パーフェクトアディクション」がアニメ化され、テレビ神奈川にて放送されました。

利益面においては、デジタル売上高の減少及び原稿料をはじめとした原価の上昇により、デジタル出版収益が前年同期比で減少し、紙出版収益においても、紙出版売上の減少により、前年同期比で減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は4,107,625千円（前年同期比15.0％減）、営業利益は252,095千円（前年同期比66.8％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は14,274,563千円となり、前連結会計年度末に比べ2,282,199千円減少しました。

流動資産は6,837,402千円となり、前連結会計年度末に比べ1,786,396千円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,197,297千円、売掛金が569,005千円減少したことによるものです。

固定資産は7,437,160千円となり、前連結会計年度末に比べ495,802千円減少しました。これは主に、無形固定資産が522,211千円減少したことによるものです。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は6,202,532千円となり、前連結会計年度末に比べ2,290,507千円減少しました。

流動負債は6,202,532千円となり、前連結会計年度末に比べ1,525,507千円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が727,535千円、短期借入金が500,000千円、未払法人税等が127,194千円、契約負債が103,598千円、返金負債が44,830千円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ765,000千円減少し、残高はなくなりました。これは、長期借入金が765,000千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は8,072,030千円となり、前連結会計年度末に比べ8,308千円増加しました。これは主に、自己株式が7,997千円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、56.4％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年８月14日の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,293,996	4,096,699
受取手形	14,660	7,330
売掛金	3,139,921	2,570,916
商品及び製品	50,477	50,757
貯蔵品	323	231
前渡金	38,832	51,615
前払費用	81,205	66,297
未収入金	8,869	872
未収消費税等	4,772	―
その他	340	1,452
貸倒引当金	△9,601	△8,770
流動資産合計	8,623,798	6,837,402
固定資産		
有形固定資産		
建物	22,585	22,585
建物附属設備	91,934	92,451
工具、器具及び備品	176,525	186,508
減価償却累計額	△158,470	△182,245
減損損失累計額	△1,591	△1,591
有形固定資産合計	130,982	117,707
無形固定資産		
のれん	7,147,072	6,704,084
ソフトウエア	93,161	96,316
コンテンツ資産	219,080	253,669
ソフトウエア仮勘定	197	217
コンテンツ資産仮勘定	5,680	6,693
出版権	118,000	―
その他	1,032	1,032
無形固定資産合計	7,584,225	7,062,014
投資その他の資産		
敷金及び保証金	129,666	126,291
繰延税金資産	69,416	110,244
その他	18,671	20,901
投資その他の資産合計	217,755	257,438
固定資産合計	7,932,963	7,437,160
資産合計	16,556,762	14,274,563

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,089,881	2,362,346
短期借入金	2,000,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,020,000	1,020,000
未払金	277,558	246,803
未払費用	75,282	67,524
未払法人税等	291,223	164,028
未払消費税等	31,983	36,055
契約負債	556,739	453,141
返金負債	191,287	146,456
預り金	48,555	78,715
その他	145,526	127,459
流動負債合計	7,728,039	6,202,532
固定負債		
長期借入金	765,000	―
固定負債合計	765,000	―
負債合計	8,493,039	6,202,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,859	1,910,859
資本剰余金	1,910,491	1,910,359
利益剰余金	5,268,416	5,264,161
自己株式	△1,039,647	△1,031,650
株主資本合計	8,050,119	8,053,730
新株予約権	13,603	18,300
純資産合計	8,063,722	8,072,030
負債純資産合計	16,556,762	14,274,563

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	12,688,167	11,608,046
売上原価	8,316,112	7,872,333
売上総利益	4,372,055	3,735,713
販売費及び一般管理費	3,369,004	3,069,411
営業利益	1,003,050	666,301
営業外収益		
受取利息	3,749	7,088
受取配当金	107	95
還付金収入	1,167	―
事業譲渡益	10,000	―
その他	513	1,277
営業外収益合計	15,538	8,461
営業外費用		
支払利息	45,185	41,747
融資手数料	2,875	1,549
その他	1,910	1,527
営業外費用合計	49,971	44,824
経常利益	968,617	629,937
特別損失		
固定資産除却損	12,990	―
事務所移転費用	20,560	―
特別損失合計	33,550	―
税金等調整前四半期純利益	935,067	629,937
法人税、住民税及び事業税	448,138	398,617
法人税等合計	448,138	398,617
四半期純利益	486,928	231,320
親会社株主に帰属する四半期純利益	486,928	231,320

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	486,928	231,320
四半期包括利益	486,928	231,320
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	486,928	231,320

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	合計（注）２
	プラットフォームセグメント	コンテンツセグメント	計		
売上高					
自社配信	7,538,609	―	7,538,609	―	7,538,609
他社配信	271,762	3,609,325	3,881,088	―	3,881,088
紙出版	―	781,837	781,837	―	781,837
その他	216,291	270,340	486,631	―	486,631
顧客との契約から生じる収益	8,026,663	4,661,504	12,688,167	―	12,688,167
外部顧客への売上高	8,026,663	4,661,504	12,688,167	―	12,688,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	41,100	173,079	214,179	△214,179	―
計	8,067,763	4,834,583	12,902,347	△214,179	12,688,167
セグメント利益	243,235	759,672	1,002,907	143	1,003,050

（注）１．セグメント利益の調整額143千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	合計（注）２
	プラットフォームセグメント	コンテンツセグメント	計		
売上高					
自社配信	7,091,923	―	7,091,923	―	7,091,923
他社配信	328,797	3,130,170	3,458,968	―	3,458,968
紙出版	―	552,744	552,744	―	552,744
その他	180,800	323,609	504,410	―	504,410
顧客との契約から生じる収益	7,601,522	4,006,524	11,608,046	―	11,608,046
外部顧客への売上高	7,601,522	4,006,524	11,608,046	―	11,608,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	43,200	101,101	144,301	△144,301	―
計	7,644,722	4,107,625	11,752,347	△144,301	11,608,046
セグメント利益	414,063	252,095	666,158	143	666,301

（注）１．セグメント利益の調整額143千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2026年３月27日定時株主総会	普通株式	234,708	42.00	2025年12月31日	2026年３月30日	利益剰余金

２．基準日が当第３四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第３四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の金額の著しい変動

当社は、2026年３月27日開催の取締役会決議に基づき、2026年４月24日付で、当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式5,489株の処分を行いました。この結果、当第３四半期連結累計期間において利益剰余金が866千円、自己株式が7,997千円減少し、当第３四半期連結会計期間末における利益剰余金は5,264,161千円、自己株式は1,031,650千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	267,155千円	265,833千円
のれんの償却額	442,987 〃	442,987 〃